

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内観光地理 Domestic Tourism Geography		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内旅行実務 I、旅行関連法規、旅行業務総合演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内旅行実務 I、旅行関連法規、旅行業務総合演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小鮎 滋則	講師室	木曜日 10時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
観光の対象となる国内の観光地理・資源について、都道府県ごとに学びます。また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応する授業内容です。				
授業の目標				
「旅行業務取扱管理者」国家試験科目の「旅行実務」の中に観光資源があり、観光地理は「観光資源」に包括されています。この講座では国家試験対策に必要な「国内観光資源」を主に学びながら、歴史や文化と関連させて各地域の観光資源(例：自然景観、温泉地、建造物、祭り、郷土料理、特産物など)の知識を身につけられるようにします。				
授業の方法				
観光資源については、旅行パンフレットや観光地の写真などを通して具体的なイメージを把握できるようにします。毎回ワークが課題として課されますので、自主的な学習も必要とされます。				
学習の成果 (学習成果)				
観光地理・資源を学ぶことにより、日本の旅をより一層楽しむことが出来るようになります。旅行業務にとって必要不可欠な知識である、観光地理に関する知識を身に付けることが出来ます。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 全国都道府県地理			
第2回目	北海道			
第3回目	東北地方 1			
第4回目	東北地方 2			
第5回目	中部地方 1			
第6回目	中部地方 2			

第7回目	関西地方 1
第8回目	関西地方 2
第9回目	中国地方
第10回目	四国地方
第11回目	九州地方 1
第12回目	九州地方 2 、沖縄
第13回目	関東地方 1
第14回目	関東地方 2 と試験
第15回目	まとめ

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	14回目の講義時間に試験を行います。 S評価の基準：S = 90 - 100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

テキスト：2015年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン（ユーキャン学び出版）
参考文献：旅に出たくなる地図日本(帝国書院)

履修上の留意点・ルール

国家試験を目指す学生はチャレンジ精神旺盛であることを期待します。